次の書籍に訂正がございますので、下記をご参照ください。みなさまにはご迷惑をおかけいたしますことをお詫び申し上げます。

●書名 『2026年版大学入試攻略数学問題集』

●対象となる版 2025年7月10日発行 初版第1刷

●誤りの内容

箇所		誤	正
解答編 数学 I ·A/p.17	21番(3)	[p.17右列 下から5行目] れない整数は、4k-2(k=1, 2, …, 25)と	[p.17右列 下から5行目] れない偶数は, 4k-2(k=1, 2, …, 25)と
解答編 数学B, C(ベクトル) /p.90	92 番(1)	[p.90左列 上から3~10行目] 治療効果は、二項分布 B(1000, p) に従う. これは、近似的に 正規分布 N(1000p, 1000p(1-p)) に従う. よって、H ₀ が正しいとすると、つまり p=0.4 とすると、R は近似的に 正規分布 N(400, 240) に従う.	$[p.90左列 上から3~10行目]$ H_0 が正しいと仮定すると, R の平均は $p=0.4$ であり,分散は $\frac{p(1-p)}{1000} = \frac{0.4 \cdot 0.6}{1000} = 0.00024$ となり, R は近似的に 正規分布 $N($ 0.4 , 0.00024) に従う.
解答編 数学Ⅲ, C(ベクトル以外) ✓p.111	111番	[p.111左列 上から12行目] =2 $\cos \theta$ +2 $\sin \theta$ – $i(\cos \theta$ + $i\sin \theta$)/2	[p.111左列 上から12行目] =2cos θ +2isin θ −i(cos θ −isin θ)/2
解答編 数学Ⅲ, C(ベクトル以外) /p.155	147番(2)	[p.155左列 上から7行目] $\frac{1}{n} \sum_{k=n}^{2n} \frac{A_{4n+1}}{A_{2k+1}}$ [p.155左列 最下行] $\lim_{n \to \infty} \frac{1}{n} \sum_{k=n}^{2n} \frac{A_{4n+1}}{A_{2k+1}} = 2 \log 2 - 2(2 \log 2 - 1)$ [p.155右列 上から4行目] $\lim_{n \to \infty} \frac{1}{n} f\left(\frac{k}{n}\right) = \int_{0}^{1} f(x) dx$	[p.155左列 上から7行目] $\frac{1}{n} \sum_{k=n}^{2n} \log \frac{A_{4n+1}}{A_{2k+1}}$ [p.155左列 最下行] $\lim_{n \to \infty} \frac{1}{n} \sum_{k=n}^{2n} \log \frac{A_{4n+1}}{A_{2k+1}} = 2 \log 2 - 2(2 \log 2 - 1)$ [n.155左列] 上から4行目] $\lim_{n \to \infty} \frac{1}{n} \sum_{k=1}^{n} f\left(\frac{k}{n}\right) = \int_{0}^{1} f(x) dx$

箇所			
		[別解を追加]	
解答編 数学B, C(ベクトル) /p.90	92番(2)	【別解】	$\frac{R-0.4}{s} \ge 1.64.$ $R \ge 0.4 + 1.64s.$ $R = \frac{n}{1000} \text{ であるから}$ $\frac{n}{1000} \ge 0.4 + 1.64s.$ $n \ge 400 + 1.64 \times 1000s.$ ここで $1000s = \sqrt{10^6 \cdot \frac{0.24}{10^3}}$ $= \sqrt{240}$ $= 4\sqrt{15}$ $= 4\sqrt{3} \cdot \sqrt{5}$ $= 4 \times 1.7 \times 2.2$ $= 14.96$ より $n \ge 400 + 1.64 \times 14.96$ $= 424.5 \cdots$ よって、 n の最小値は、425.